



SCOPH
Public Health

2012

Asia Community Health Project

写真展

～Real Indonesia2～

報告書

作成者：澤島摩那

作成日：2012年8月25日（土）

写真展～Real Indonesia 2～

日時	2012年7月22日
場所	ワールドカフェ&バー INSTEP LIGHT
目的・対象	【目的】スマトラ島(インドネシア)の現状報告と活動報告のため 【対象】写真展・プロジェクトに興味を持ってくださった人
参加人数	25人(最終日のイベントのみ集計)
活動内容	<p>ACHPが写真展を開催するのは二回目である。今回の写真展では、インドネシアに派遣に行き、スタッフが実際に撮影してきた写真を展示した。また、新たな試みとして、同じくインドネシアを拠点に活動を行っている慶應大学看護学生の国際協力団体「euphoria」との共催とし、両団体の写真を通して見えてくるインドネシアについて考える機会を作ろうと活動を行った。</p> <p>7月11日～22日の期間中、INSTEP LIGHTにて写真展を開催した。最終日の22日にイベントでは、最初に、euphoriaとACHPの各プロジェクトが普段の活動の紹介をスライドを用いて行った。その後、ムービーを用いたり、写真をスライドに拡大しながら、現地で考えたことや、なぜ数多く撮った写真の中からその写真を展示用に選んだのかについて参加者に向けて、実際に撮影したスタッフが語った。</p> <p>さらに、スタッフ、写真展についてアドバイスをくださっていた写真家の方、イベントの参加者を交えて交流会をおこなった。その交流会では、それぞれ国際活動団体に入っている人が、自分の団体の活動を説明する機会になったようである。</p>
自由記載欄 (感想、反省など)	<p>euphoriaとIFMSA-Japan ACHPの団体がコラボすることで、同じフィールドで活動する団体でも、活動内容やその規模、現地で感じてくることは多種多様であることに準備段階で何度も重ねた話し合いで実感することができた。</p> <p>参加者からは、交流会の時間に国際的な活動をしている仲間と話すことができ、有意義だった、実際に現地で</p>

	<p>写真を撮ったり、写真展を作ってきたスタッフと話すことができよかった、などと交流会の時間が楽しかったという感想が多くあった。</p> <p>一方で、写真展の最終日のイベントへの準備が遅かったということが反省である。プレゼンやムービー説明の進行などの打ち合わせがもっと早い段階で出来るように次のイベントでは活かしたいと考えている。</p>
スタッフ	<p>活動責任者：池田有理 活動副責任者：湯沢航平 角和珠紀 笠井美奈 柴野 芳彰 大谷真理子 藤永貴大 澤畠摩那</p>

写真

